



第2回 特定施設事例研究発表全国大会

[開催地：日本消防会館(東京)]

平成26年3月27日(木)に開催されました、第2回特定施設事例研究発表全国大会に介護付有料老人ホーム クオレ西淀川が参加致しました。

参加に至るには、厳しい事前選考もありましたが無事に通過しこの度、全国大会で発表させて頂ける事となりました。

演題 死を受け入れ「その人らしい」最期迎えるために

施設での生活を人生の最後の場と選択された入居者様、ご家族様に満足して頂くために私達介護者が何をすべきなのか、何ができるのか「その人らしい」最期を迎えて頂くために、試行錯誤を繰り返しました。入居者様はもとよりご家族様へも寄り添うことの大切さを学び、入居時から看取りが始まっていると考え、スタッフが代わっても情報を共有できるように、フロア独自のハートケアノートを作成するまでに至った事例を挙げました。

全国大会では ケアマネジメント部門 6法人
認知症ケア部門 7法人
看取り介護部門 4法人 の発表があり、

クオレ西淀川は「看取り介護」部門で発表し「優秀賞」を頂きました。



今回、全国事例という大きな舞台で発表させて頂き、それまでしんどい時が多々ありましたが、沢山のスタッフの協力を得て乗り越えることが出来ました。

私達の発表順番が最後であり、緊張のあまり他法人の方の発表がまともに耳に入らず聞き逃してしまった部分もいくつかありましたが、私達の施設にも当てはまる事例がいくつもあり、見ている目線が違い解決策を見つけ出す良い勉強の機会になりました。

今後、気になる事があればいつも目線を変えて入居者様のことを考え、解決策を見つけ出して行きたいと思いました。

これからも精進し色々な経験を積み重ね、少しでも入居者様とご家族様に満足して頂ける介護が出来るよう努めたいと思います。

落 紗登子

